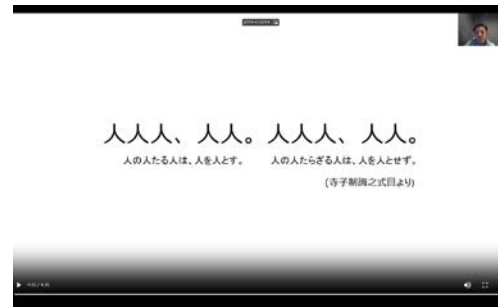




# 国立大学法人 北海道国立大学機構 小樽商科大学

## ビジネスにおけるAIデータ利活用 プログラム 概要

共通科目 基礎科目 知（地）の基礎 [総合科目 I d (ビジネスにおけるAIデータ利活用)]



### 目的

- ・ 今後数十年は役立つ論点思考、仮説思考を身に着ける
- ・ データドリブン思考 (+ 計算論的思考) で判断する目を養う

### 特徴

- ・ 大手コンサル企業にて現役でデータ利活用の業務に従事するクロスアポイントメント教員が実際のビジネスの現場から見たデータサイエンスの教材を開発 (オンデマンド講義で質疑等はLMSを活用)
- ・ ビジネス現場にてデータ分析を行っているメンバ・クライアントをゲストとして招聘

### 経緯

R2より、「データサイエンス教育の社会科学系パッケージの構築とオンデマンドによる普及及びビジネス教育への活用」事業を開始したことを機に、クロスアポイントメント制度によりデータサイエンス関連の民間企業から教員を採用し、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」に対応する科目を開発。

R3後期から、学問への導入や基本的な知識、大学で学ぶための技法などを修得するための「知（地）の基礎」に配置する [総合科目 I] として開講。

### 点検・評価体制

DX担当副学長、社会情報学科教員、ビジネススクール教員により構成される数理・データサイエンス・AI教育プログラム推進委員会が、教学IR室と連携して科目の内容・運営を点検・評価。